



コンサルテ瀬田便り



11/16 都流 歌謡舞踊「寿」(p.3)

11/27 蕎麦打ち実演 (p.3)

秋の日帰りバス旅行 なばなの里へ



なばなの里・ベゴニアガーデンに勢揃い

11月13日(木)、日帰りバス旅行が行われました。午前9時に出発、名神高速から東名阪道を伊勢湾岸に出て、長嶋温泉ホテル・オリーブで昼食のあと、なばなの里に到着、ベゴニアガーデンに入園し、記念の集合写真を撮影。園内を散策、咲き誇る花々を心行くまで鑑賞しました。

スナップショットで紹介 出発準備・昼食・園内散策



車椅子の積み込みです



準備OK！出発です



車中は和やかに、どうも、どうも！



楽しいお弁当の時間でした



お仲間とチョットきめてみました



きんさん・ぎんさんの来園記念植樹

都流・歌謡舞踊の皆さんが来演



加藤朝子さん(*)の「寿」の舞



石川・松田さんの「二輪草」の舞

11月16日、都流 歌謡舞踊の皆さんの来演がありました。踊りの大好きな仲間で結成されており、これまでに、南座の定期公演や市民会館での発表会などに、数多く出演されています。また、地域においては、文化の日、敬老の日などに活躍されているそうです。この日の演目は聞き親しんでいる曲目で、出演者と共に楽しむことができました。(*)加藤朝子さんはコンソルテ瀬田の職員岡戸さんのご母堂です。

蕎麦打ちの妙技に拍手



11月27日、各階で蕎麦打ちの実演が行われ、熟練の妙技に絶賛の拍手が送られました。

演者の大江友二さんは当施設の給食を担当しているグリーンヘルスケアのマネージャーで、この道のベテランです。大江さんの解説では、蕎麦粉は一度に水を吸わないので、少しずつ水を加え辛抱強く練り上げていくのは焼き物の土をこしらえていくのと同じとのこと。桐の木のまな板の上で独特のつくりの包丁が鮮やかに蕎麦を切り分けていく手際に魅入られたひと時でした。

インフルエンザの予防心得

鳥インフルエンザには不織布マスクが有効か(厚生労働省が推奨)

コンサルテ瀬田の感染防止委員会では、これからの季節、インフルエンザの感染を予防するため、**手洗い、うがい、消毒**をこまめにおこなうよう呼びかけています。入居者様にはワクチン接種をお勧めしていますが、ほぼ全員が受けておられます。また、職員もほぼ全員終了していますので、施設としての初期の感染予防体制は終了しています。

ただ、今年、やっかいな鳥インフルエンザの世界的流行が予想されています。このような事態に対し、かねてから厚生労働省では、鳥インフルエンザの感染・拡大予防の有効な方法として、**不織布を使ったマスクの着用**を勧めています。市販のマスクは最近ほとんどが不織布を使ったマスクになっているようでその点安心ですが、予測不能の感染拡大が危惧されますので、早い時期での購入が必要でしょう。

厚生労働省では、不織布マスクは使い捨てで再使用はできないため、新型インフルエンザ流行の前に家庭で備蓄しておくことを推奨しています。目安として、発症時の咳エチケット用に7～10枚(罹患期間7～10日)、健康時の外出用に16枚(週2回・8週間)を示し、一人当たり20～25枚、人数分の備蓄を勧めているようです。

人事異動の紹介

本年12月1日付で下記の異動がありました。

- 岡戸佳恵美相談室長→居宅支援事業所所長
- 井上迪子居宅支援事業所所長→相談室員
- 大上芳仁相談室員→相談室長

新入職員紹介



2F・ケアワーカー岩井増一

○編集後記

世の中、殺伐の度合いが増している。車の轢き逃げが跡を断たないが、交通事故と言うよりはあらかじめ意図した殺人のように思えるのは、筆者だけか。そこへ、元厚生省事務次官を狙った連続殺害事件である。

スワツ、テロかと一時マスコミ報道は色めき立ったが、数日後に犯人が自首して、殺害の原因も子供の頃、可愛がっていた犬を保健所に殺された恨みの意趣返しとか。全く「龍頭蛇尾」の呆気ない幕切れであった。しかし、憶測を逞しくすれば、次官経験者に喋られて、年金問題が身も蓋もない事態になることを恐れた厚労省一部利害関係者の関与が、、、(オット)筆禍を招きかねない素人の憶測談義は、この辺で(K)